

アイヌは、北海道などにむかしからすんでいる民ぞくです。アイヌの血をひくアイヌとワカナは、大阪から北海道へひっこしてきました。ふたりは、おじいさんたちから、しぜんとくらすためのおちえや、くエムシムセ(つるぎのまい)という歌とおどりをうけつきました。

宇井眞紀子／写真・文 少年写真新聞社

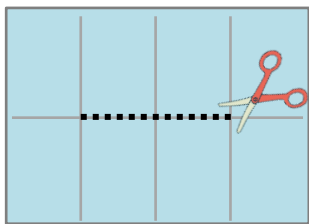
『アイヌ三世代の物語』

K382 『伝え守る』



こなひきのおやかたが、3人（にん）のわかものに「いちばんいい馬（うま）をつれてきたものに、水車（すいしや）ごやをゆする」といきました。そこで3人はたびにでますが、年下（としした）のハナは道にまよってしまいました。そこへねこがあらわれて、「うちで7年（ななねん）はたらいたいから、馬（うま）をあげる」といいます。

K943 『ねこのおひめさま』
クリム／原作 竹下文子／文
林なつこ／絵 あかね書房



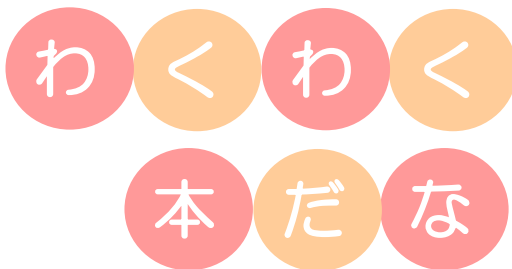
紙を8つにおいて、半分にひろげてね。てん線のところに、ハサミで、きりこみをいれて、くみだてれば、本のかたちになるよ！

編集・発行 富山市立図書館

富山市西町5番1号

電話 076-461-3200

としょかんのホームページもみてね！



2022年
3月号



E 『ハナはへびがすき』



蟹江杏／作 福音館書店

ハナは、いきもののなかでへびがいちばんすきです。それから、カエルやとかげや、ミミズもだいすき。でも、かぞくはハナがすきないきものを、きもちわるいといっています。ハナは、へびたちをともだちにあわせるため、がっこうにつれていきました。

K913

『しりとり電車のハイイチくん』



別司芳子／作

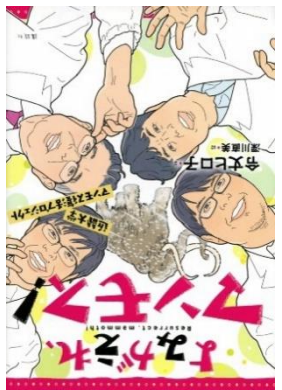
しんやゆう子／絵

文研出版

さくらは、となりのせきのハイイチくんがにがてです。じゅぎょうちゅうはじっとしていないし、きゅうしょくのじかんになると、さくらのつくえで電車ごっこをするのです。そんなハイイチくと、えんそくのバスまでとなりになってしまいました。

大昔に絶めたアソモス、シベリアの永久凍土（0度以下の土）にうまっていることがあります。科学者の入谷先生は、発掘したアソモスの一部を日本に持ち帰り、細胞を調べて復活させようと考えました。もしアソモスが復活すれば、その技術で絶めたアソモスになっていくほかの動物たちを救えるかもしれません。

『よみがえれ、アソモス！』
近畿大学アソモス復活プロジェクト
司令子/文 深川直美/絵 講談社



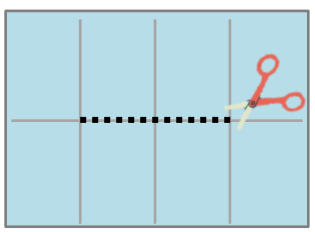
K457

チャリーは、図書館でアギーとおばあさんとお会いしました。アギーはなぜかおびえた様子で、手話で何か言った後、姿を消してしまいます。手話がわからないチャリーは、ろう学校に通うロッグをたずね、手話の意味を聞くことにしました。ふたりはアギーが事件に巻きこまれたと考え、手話や筆談を使ってそうさをほめます。

『チャリーとロッグ 手話の町の図書館となぞのメッセージ』
カリン・ケイツ/著 根本美由紀/訳
亀井洋子/挿絵 岩崎書店



K933



紙を8つにおって、半分にひろげてね。てん線のところに、ハサミで、きりこみをいれて、くみたてれば、本のかたちになるよ！

わ く わ く

本 だ な



2022年
3月号

4 5 6 年

編集・発行 富山市立図書館
富山市西町5番1号
電話 076-461-3200
としょかんのホームページもみてね！



K913 『レッツキャンプ』
いとうみく/作 酒井以/絵
佼成出版社

晴斗は、新しいお父さんとふたりでキャンプにやってきました。でも、ふたりともキャンプは初めてで、うまくいかないことばかりです。

晴斗たちは、近くでキャンプをしていた同い年の耀太と、そのお父さんに手助けしてもらいました。4人はごはんを一緒に食べることになりましたが、なぜか耀太は元気がありません。